



ロータリー：
変化をもたらす



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

なんと

NO. 2399



URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334



棟方志功記念館「愛染苑」 撮影 写真同好会 杉本正人会員

第2459回例会 平成30年 5月29日(火)晴

《例会変更》ゴルフ例会 ゴルフ倶楽部ゴールドウイン

- ◆点 鐘 12:00 渡邊秀一会長
- ◆司 会 尾山裕和 SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト (株)ゴールドウイン
テクニカルセンター技術主席
沼田喜四司様



オープン参加の仲村朋子さんと泉川由美さん、

◆会長の時間 渡邊秀一会長



本日はゴルフ例会で、又初の企画オープン例会です。今年の下口ガバナーの方針は「クラブのカラーを出そう」です。我クラブにはゴルフのシングルプレーヤーが7人在籍しています。これもクラブのカラーです。又、ゴルフを通して新しい会員の増強も多に良い事と思います。

◆幹事報告 税光信作幹事

- ①ガバナーエレクト事務所より、「2018-19年度ガバナー公式訪問(7/24)・ガバナー補佐訪問(7/10)について」
- ②富山RCより、「2018-2019地区大会PRキャラバン訪問受け入れのお願い」について
- ※昨日FAX・メールで流した「50周年記念大会前日・当日のご案内」ですが、曜日が違っていました。正しくは、6/1(金)、6/2(土)です。お間違えの無いようお願い致します。

50周年記念大会
6/1(金) 後5時 追悼法要 別院 善徳寺
6/2(土)11時 集合写真、13時 式典(じょうはな座、後5時半 祝賀会 別院 善徳寺)

◆南砺RCゴルフ大会成績

30年5月29日(火)晴れ ゴルフ倶楽部ゴールドウイン 14名参加

★ニアピン賞	順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
3H 松本敏博	優勝	久恵龍三	49	51	100	28.8	71.2
7H 岩木貴之	準優勝	宮川 功	39	42	81	9.6	71.4
12H 石崎和三	3位	泉川由美	45	43	88	15.6	72.4
15H 宮川 功	4位	岩木貴之	38	42	80	6.0	74.0
★ドラゴン賞	5位	松本敏博	43	40	83	15.6	74.6
2H 石崎和三	6位	石崎和三	38	39	77	2.4	74.6
11H 森 雄一	7位	古瀬喜八郎	43	51	94	18.0	76.0
★小波賞	8位	渡邊秀一	47	48	95	16.8	78.2
澤田喜朗	9位	澤田喜朗	50	49	99	20.4	78.6
★B G賞	10位	森 悦夫	54	56	110	31.2	78.8
石崎和三	11位	榊 祐人	57	50	107	27.6	79.4
	12位	仲村朋子	57	59	116	36.0	80.0
	13位	森 雄一	57	51	108	26.4	81.6
	14位	木村伊徳	50	45	95	13.2	81.8

◆委員会報告

●50周年実行委員会 久恵龍三事務局長
昨日もりハーサルをしました。変更点などあれば、メールやFAXで連絡します。資料を確認の上、委員長の指示に従いご協力願います。

☆ニコニコボックス

5/29 吉田 実委員長

- 渡邊君 ゴルフ例会、楽しくやりましょう。
- 尾山君 小学同級生で出雲大社、正式参拝してまいりました。
- 山田喜君 来る途中、山ぼうしor、花水木の花がきれいでした。
- 木村君 今日は今年2回目のゴルフです。仕事は梨の摘果がやっとメドがたち、顔はプロゴルファー並の黒さです。『逆パンダ』です。
- 三吉君 今日も元気です。
- 森 悦君 沼田喜四司様をお迎えて。
- 北島君 50周年、前日夕方の設営、準備にご協力下さい。(受付担当より)
- 吉田実君 沼田喜四司様、お久しぶりです。2年前に中国張家界にご一緒させていただきました。
- 松井君 ゴルフ日和り。プレイ参加の皆さん、頑張ってください。
- 井沢君 いつの日にか、ゴルフの出来る体に戻りますように。
- 湯浅君 天気も良く、ゴルフ日和り。天に感謝。有難う。
- 船藤君 天気が良くてゴルフ日和りです。皆さん頑張ってください。
- 松本敏君 素晴らしい天気ゴルフが出来るなんて幸です。
- 宮川君 ゴルフ、頑張ります。努力します。
- 税光君 良い日和です。最高のスコアを期待しています。
- 榊 君 道中、ネズミ捕りをしました。皆さんスピードに注意しましょう。本日のゴルフよろしく願います。
- 森 雄君 ゴルフ例会に、参加して。
- 久恵君 ああ、忙しい。大会まで4日。ラストスパートです。
- 石崎君 今日は、ゴルフ日和り。泉川由美さん、仲村朋子さん、いらっしゃい。
- 牧 君 先日、会合の後、歩いて城端へ向っている途中、南砺署がまんど(万灯)で人もいたので、何かと中の様子を伺っていたら、若い刑事が出てきて、挙動不審と思ったのか何か聞かれました。暫くして漸く家内が来て、迎えにきたと引受てくれたので放免されました。
- 高野君 良い天気ですね！



本日のプログラム 6月2日(土) 第2460回

《例会変更》クラブ創立50周年記念大会
式典:じょうはな座 祝賀会:善徳寺 宮川実行委員長

次回の予定 6月12日(火) 第2461回
RA情報

担当 RA委員長 石崎和三君

◆出席報告

会員数	5月29日出席率	5月15日の修正
52 (免除2)	72.00% (欠14)	74.00% (欠13マーク4)

メキッパ: 尾山裕和君、片山浩一君、久恵龍三君、榊 祐人君。



皆様方には、日頃よりお世話になり有難うございます。少しでも皆様のお役に立てるお話をさせていただければと思います。前回、2010年6月は会社の歴史や概要、開発体制、パターンメイキングのルーツの夜高行灯、宇宙下着の開発についてお話ししました。

2015年のラグビーW杯で、日本チームが大活躍しました。決勝トーナメントには進めなかったのですが、南アフリカ、サモア、アメリカに勝って、史上初の3勝を挙げました。優勝はイングランド、2位がオーストラリア、3位が南アフリカでした。2019年のW杯は、地元東京開催ですから良い結果が出るものと思います。

現在、2019モデルのウェアの開発真最中で公表出来ない事もありますが、2015モデルの経緯も踏まえてお話ししたいと思います。2015モデルのPVをご覧ください。【PV】

全日本チームの歴代のユニフォームです。1999年まで約20年間、デザインは変わりませんでした。綿100%の太い糸で編まれた、いわゆるラグーシャツです。サンプルが在りますので、後程手に取って見て下さい。2003年からポリエステル100%に変わりました。縁あって、2003年モデルから携わりました。以前は動き易ければ良かったのですが、設計が大きく変わったのが2007年モデルからです。体にフィットしたスマートなモデルで、相手の攻撃をかわす狙いがあります。動き易く、強度があるもので生地やデザインが変わってきております。2019モデルの発表は、来年6月です。

2003年までは、伝統的な平面パターンでの設計です。2007・2011モデルは、スリムで体にフィットする動き易いGW独自の立体パターン設計です。2015モデルは、実際の選手の体形を3Dスキャンして立体裁断する設計です。

今回はモーションキャプチャーによる動作分析も取り入れ、より高度な設計手法を開発しております。パターンメイキングの4つの手法

- ① 平面製図法：決められたルールに沿って行う。誰がやっても答えは1つで、応用範囲が狭い。
- ② 立体裁断：人体模型に直接布を着せてパターンを抜き取る。応用範囲が広く、答えは無数にある。
- ③ 立体製図法：曲面と曲面の接続や人体モデルの立体造形の2次元化に有効。
- ④ 3D-CAD：アパレルメーカー各社が3Dソフトを開発中。高額投資と精度・信頼性の向上が必要。

平面製図法と立体裁断が標準的で、スポーツウェアは2つの手法の併用型が主流です。平面裁断と立体裁断は、製図手法の違いではなく、考え方の違いです。平面裁断は和服に代表され、たたんで箆箆にしまえ、生地ロスがなく、比較的フリーサイズである。立体裁断は、背広のようにハンガーに掛けて保管し、身体のシルエットがそのまま作れます。

2015モデルでは、選手の体型を3Dスキャンによって測定し、ポジション別に3パターン作りしました。これは、ラグビー界にとって画期的なことです。一番苦労したことは、赤外線センサーで計測するのですが、股のところなど陰になる部分が計測出来ないで、補完するのが大変でした。3Dデータに基づいて人体模型を駆使し、これによってユニフォームを試作し、実際の競技の中でどんな動作にも対応しフィットするよう更に改良を加えました。味方の力は助け合うように、敵の力は分散させるよう色々と試験しました。モーションキャプチャーによる動作解析もしました。

昨年11月に、TECH・LABと言う研究施設をオープンしました。より精度の高い、ニーズに合った研究開発が素早く出来ることになりました。製品の展示や動作解析などの各種測定機器と共に、色々な製品試験を行っています。施設見学も可能ですので、機会があればお越し下さい。

今までの商品開発で考えてきたことは、感動ビジネスの展開です。人が幸せに生きるための要求は様々ですが、それぞれの考え方から価値観（感性）が生まれ、よろこびや生きがいに繋がり感動を生み、その感動が行動に繋がるのです。

私たちの仕事は、クリエイティブな中から生まれる感動をユーザーの方に買ってもらうことです。新商品の開発に何より大切なのは情熱です。情熱がないと新商品開発は出来ないし、情熱が見えないと人は感動しません。

情熱と感情を届けることが、販売の課題になります。商品・サービスの真の価値は、誰かの役に立っていることだと思えます。商品が、感性や使われ方によって感動を生み出します。その感動が商品価値だと思えます。

2015W杯で全日本チームが大活躍し、日本中のスポーツファンを虜にし、日本人としての誇り、自信、希望、感動を与えてくれ、一番多くの感動と自信をもらったのは私自分だと思ひ、心から感謝しています。

人は情熱と努力と成果が一致した時に、より大きな喜びと感動があると改めて感じました。私たちの仕事は、アスリートの情熱と努力と成果の一致を助けることです。その成果を通じて私たち自身が感動を受けて、新しい創造性を発揮することが出来ます。

感動を与える商品開発の源泉は、①ユーザーの価値観とライフスタイルに働きかけ、共感と感動を与えるコンセプト創り②コンセプトを具現化し、商品パフォーマンスを向上するアイデアと技術力③ユーザーコミュニケーションの3点が創造性に繋がります。既成概念にこだわらない自由な発想・創造性と斬新なもの造りやサービスを生み出す技術の革新と蓄積が新商品開発に必要な要件です。更にとてつもない発想の飛躍が必要になります。

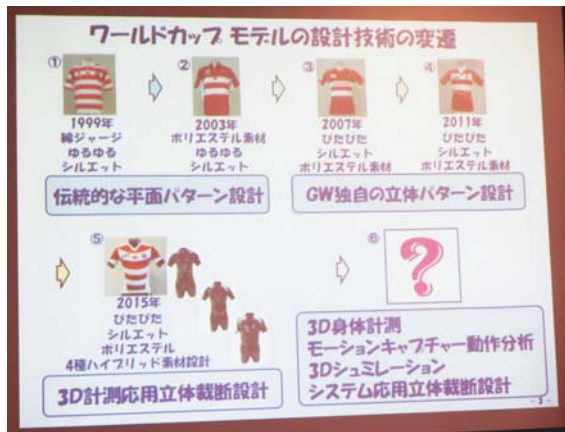
開発における5つの視点は、①勝つ②生きる③快適性④健康⑤環境です。そして、方向性は①ストレスフリー②機能と感性の融合です。

私の好きな詞は、相田みつおさんの「感動とは、感じて動くと書くんだなあ」です。

当社は、今まで多くの冒険家やアスリートに出会い、沢山の感動を頂きました。それが私たちの「ものづくり」の原点です。これからもユーザーの方の意見や感動を貰って、我々自身が感動して、お客様に感動と信頼して貰える商品の開発を続けていきたいものです。

商品を通じて、心が通じ合う開発を続けていきたいと思ひます。

(会報担当・榊 祐人)



2015モデル

